



**大型カヌーにも挑戦**  
小学生と中学生を対象に、客船を利用して行われる7泊8日の体験航海「ジュニア洋上スクール」。高校生・大学生指導員が子どもたちの世話を担当します。指導員と共に、美しい海で大型カヌーに挑戦。

■活動領域 家庭 学校 地域 企業 ■3つのこころ 自分に 他者に 社会に

## 家族や仲間の大切さを、心身で学ぶ野外研修 「子ども自然体験キャンプ」 「ジュニア洋上スクール」事業による “親からの手紙”と青少年指導者の育成

### 活動内容の紹介

#### 元気な子どもと青少年指導者の育成を目指して

森と海の学校は、冒険心あふれる子どもと青少年指導者の育成を目的に、岡村精二さんが立ち上げたNPOです。1984年の開校以来、「子ども自然体験キャンプ」などの野外研修の実施を25年間続けています。研修のテーマは、「親からの手紙を通して、親が子に生き方を教える」ことであり、研修を通じて子どもたちが「自分にとって親とは何なのか」「どのような生き方をしなければならないのか」と考えることができるよう、「親からの手紙」などの独自プログラムを行っています。また、研修の企画・運営は高校生・大学生指導員中心に行われており、青少年の社会参加の場ともなっています。



25年間続く「子ども自然体験キャンプ」  
08年に熊本県阿蘇で行われた、第25回「子ども自然体験キャンプ」。100人を超える子どもたちと、青少年指導員ら活動を支えるスタッフ。

- 1 家族の絆を深める。
- 2 高校生、大学生に社会参加の場を与え、青少年指導者を育成する。
- 3 子どもたちに異年齢交流(小学1年生から高校生)と仲間づくりの場を与える。
- 4 子どもたちに自然の中で遊び、友だちと協力して物事を達成する喜び、仲間と遊ぶ楽しさ、家族(命)の大切さを感じる体験をさせる。

### 活動の目的

#### 自然の中で、異年齢交流と仲間づくりを

森と海の学校では、毎年「子ども自然体験キャンプ」や「ジュニア洋上スクール」などの野外研修を行っています。「子ども自然体験キャンプ」は、小学生を対象にした4泊5日のサマーキャンプ、「ジュニア洋上スクール」は、小学生と中学生を対象に客船を利用して行われる7泊8日の体験航海で、共に高校生・大学生が指導にあたります。研修中は、異なる年齢を交えた縦割り班編成での共同生活です。異年齢交流を通して、子どもたちは自然に協力と思いやりの心を学び、絆を深めます。研修終了後も、手紙などで交流を続ける子どもたちがたくさんいます。

#### 「子ども自然体験キャンプ」の主なプログラム

##### ■親からの手紙

保護者が、それぞれの子どものかけの願いや思い出を綴った手紙を送ります。子どもたちはその手紙をひとりひとりで読み、翌日感想文を書きます。(くわしい内容は次頁)

##### ■ライフサイクルプランの作成

人生の夢や目標を見つけ、その実現には各年代で何をすべきかを考えながら人生設計図を作成。目標を明確にし、それに向かい努力することの大切さを学びます。

##### ■ハイキング 海水浴 野外炊飯 など

#### 子ども自然体験キャンプ



自然の中で仲間づくり  
4泊5日の研修中は、登山や川遊びなどの自然体験や、「親からの手紙」プログラムなどが実施されます。縦割り班生活は、貴重な異年齢交流の場にも。

#### ジュニア洋上スクール



自分の生き方を考え、学ぶ機会に  
毎朝、クラーク博士の言葉「ボーズ ビー アンビジャス」原文を唱和。子どもたち全員が暗唱できるようになります。



渡航先で行われる交流会で、練習の成果を披露!



多彩なプログラム  
研修は、沖縄や韓国で実施されてきました。渡航先での歴史的遺産の見学や、文化交流も忘れられない体験に。